

健康経営に関する用語の説明

【健康経営とは】

従業員の健康を重要な経営資源と捉え、戦略的に健康増進に取り組むことで組織力向上を図る経営手法。日本では経済産業省が制度設計・普及を推進。

【健康経営優良法人認定制度とは】

経済産業省と日本健康会議が共同運営。従業員の健康管理を経営課題として積極的に取り組む法人を年1回認定・公表する制度。大規模法人部門と中小規模法人部門に区分。

【ウェルネス（Wellness）とは】

運動・食事・休養・禁煙など、ライフスタイルを通じて 能動的に健康を高める ことに焦点を置く概念。

【ウェルビーイング（Well-being）】

身体的・精神的・社会的に「良好な状態」にあることを指す 包括的な幸福概念。働きがいや人間関係、生活の質（QOL）も含む。